

令和元年度 行動障害ワーキング活動方針

【これまでの経過】

「行動障害のある児童が利用できるサービスが少ない」という課題から、平成30年度にワーキングが立ち上がった。実態調査を進める中で、行動障害のある方への支援についての研修の内容を取り入れ現場で実践している事業所にヒアリングを行った。その結果、「他事業所がどのような取り組みをしているのか知りたい」という希望があり、まずは事業所同士の顔合わせや横のつながりを持つ機会となることを狙いとして、情報交換会を開催した。情報交換会では事業所からの実践報告及びグループワークを実施し、行動障害のある方への支援に関する課題や必要とされる取組について意見をもらうことができた。

【今年度の方針】

情報交換会の意見をもとに検討し、研修等を開催する。

【具体的活動(取り組み)内容】

・平成30年度ワーキングで実施した情報交換会での意見をもとに、行動障害のある方の支援についてどのような研修(学びの機会・場)があるとよいかを整理し、研修内容を決定後、開催する。